

英文和訳道場 第16回 準動詞(1)

組( ) 番号( ) 氏名( )

It is not easy **to imagine** any practical motive for studying language. **To study** arithmetic brings immediate rewards by increasing the ability **to carry out** arithmetical operations. But **to study** language does not necessarily increase the ability **to speak**, since we know **how to speak** without instruction.

和訳

---

---

---

---

---

---

---

**解説**

しばらくは、準動詞を勉強します。準動詞のポイントは、それが名詞なのか形容詞なのか副詞なのかをいつも考えることです。忘れてしまった子は、「ルール16」を見直しておくこと！今回は不定詞です。形式主語や疑問詞+不定詞も出てきます。厄介なのが、anyの訳出です。肯定文のanyは「だれでも・どれでも」の意味でallやeveryとほぼ同じ意味です。違いはというと、「①allやeveryが全部まとめて扱うのに対して、anyは1つ1つ取り上げている」、「②allやeveryが実際に存在するものに使われるのに対して、anyはもしそれがあつたらという仮定の意味を含んでいる」点です。ここでは、後半の文脈を考えると②だと分かるのですが、それにしても訳出しにく！薮下は、大学入試レベルの英語ではanyは無視しても良いと考えています。この訳語の有無で得点が大きく左右されることは絶対にありません。だからanyはバツサリ切って捨てましょう！

**見取り図**

① It is not easy to imagine any practical motive for studying language.

To imagine any practical motive	is not	easy
A	≠	B

for studying language

\* practical motive = 実際的な動機、有用な目的

\* motive for A = Aの動機、目的

\* practical motive for studying languageで「言語学習の実際的な動機」だが、名詞表現で分かりづらい。これを「言語学習が実際に何のためになるのか」と動詞化してやると日本語的になる。間違っではいけないのは、外国語の勉強ではなくて、単に言語を勉強すること。確かに、言語学者に成るといふ目的でもない限り、やるだけ無駄だと思う人が多いかもしれない。

\* 「長い主語はitにして後ろに回せ」の形式主語（ETの法則）

【全訳例】言葉を学習するのが実際に何のためになるのかを想像するのは難しい。

② To study arithmetic brings immediate rewards by increasing the ability to carry out arithmetical operations.

To study arithmetic	brings	immediate rewards	by increasing the ability
S	V	O	

to carry out arithmetical operations

\* bring rewards = 利益をもたらす。モノ主語だから、副詞化して「算数を勉強すれば」と条件文にする。人を主語を補って「僕たちは」から帰結節を始める。「事が直接的な利益をもたらす」は「人は直接的な利益を受ける」にしてやる。

\* arithmetical operations = 算数の計算、演算

【全訳例】算数を勉強すれば、算数の計算能力が伸びるので、僕らはすぐにその恩恵を受けられる。

③ But to study language does not necessarily increase the ability to speak, since we know how to speak without instruction.

But

to study language	(does not necessarily) increase	the ability
S	V	O

to speak

since	we	know	how to speak	without instruction
	S	V	O	

\* not necessarily = かならずしも～ないの部分否定。

\* since+文 = なぜなら～

【全訳例】でも、話し方の説明書などなくても僕らは話し方を知っているのだから、言葉を学習しても必ずしも話す力が伸びるとは限らない。